

学校レポーター's コラム

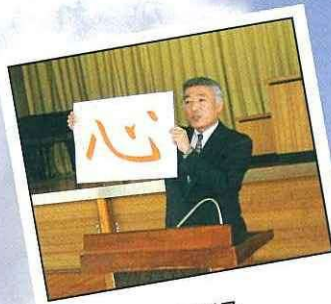
「集中して実践する集団の熟成」

第一小学校では授業を始めとして、小学校陸上大会に向けての課外活動など教育活動が活発になっていきます。一方、児童会運営委員を中心とした、第一小学校のじまんの一つである「明るいあいさつをします」への取り組みも活発化し、朝の校内には「おはようパッチン」をしながら明るいあいさつが響きわたっています。

さて、今月の朝礼では「丁寧な言動（言葉遣いや行動）を意識しよう」と話しました。第一小のじまんづくりの土壌である暖かで、友だちを思いやる雰囲気のある学級を醸し出すため、丁寧な言動を意識して生活して欲しいと願ったものです。職員による行動の例を二つ示して考えさせました。一枚の紙を友だちに渡すとき、無造作に「ほれ」と渡す。二つ目は「どうぞ」と丁寧に渡す。というものです。それを見た子どもたちは「ほれ」と無造作に渡すと、渡された方

も気分が悪いし、その様子を見ていて感じが悪いと感想をのべていました。一方の「どうぞ」と手渡した方は「渡された人はありがとうという気持ちになるし、見ていて気持ちがいい」という感想でした。

普段の何気ない言動の中に、相手の気持ちを損ねたり、集団の雰囲気を暗くしてしまうものがあります。相手の気持ちや集団への影響にも配慮した言動ができるようになって欲しいと思います。



5月の朝礼の様子

小中学校レポーター

中川根第一小学校 校長
飯田千秋 さん



「川根高校の生徒として」

入学式が終わり、教室に入ると、そこには知らない人たちがばかりでした。初めて見る顔ばかりで、僕はすごく不安でした。

「この仲間とうまくいくだろうか」「このクラスに溶け込めるだろうか」など不安でいっぱいでした。

早くも宿泊研修です。最初はとて不安でしたが、日が経つにつれて楽しくなっていました。この宿泊研修では、いろいろなことを学びました。友だちの良さ、クラスの良さ、学年の良さ、礼儀です。

特に礼儀に関しては一番学びました。一つ一つを丁寧に教えていただき、これからの学校生活にも

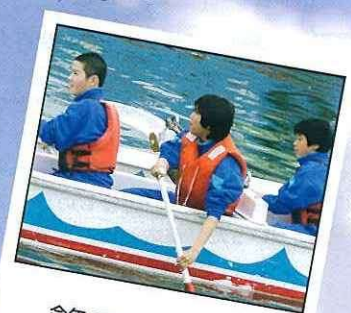
生かしていきけるものばかりでした。

まだ入学したばかりなので、先輩や先生方になんと敬語を使うようにしていきたいです。

この宿泊研修で学んだことを全て生かし、ちゃんとした高校生として、いや、「川根高校の生徒」として、これからを過ごしていきたいです。

川根高校レポーター

川根高校 1年
芹澤潤平 さん



今年の宿泊訓練の様子